

ののいち 民児協だより

第4号
平成27年6月

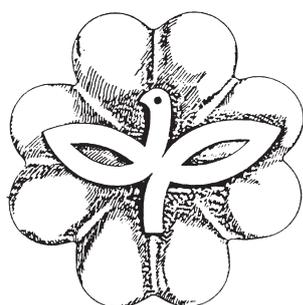


市役所垂幕

5月12日は民生委員・児童委員の日です



老人福祉センター椿荘の清掃奉仕



民生委員・児童委員は民生委員法に基づき、各市町村に置かれる民間奉仕者です。委員は都道府県知事の推薦に基づく厚生労働大臣が委嘱するもので、任期は3年です。



信頼しあえる地域づくりを

野々市市民生委員児童委員協議会

会長 前川 一夫

私たち民生委員・児童委員の任期は三年となっております。地域での見守りなどをはじめとした活動に携わって、もう一年半が過ぎようとしています。

この一年を振り返ってみますと、東日本大震災後の復旧が道半ばの状態に加え、昨年台風や豪雨災害などが相次ぎ、自然災害の猛威にさらされました。幸いこの野々市市においては、目立った被害もありませんが、要援護者の支援体制づくりはもちろんのこと、日頃から災害に対する備えや関心を持つことが益々大切になってきています。

また、日々変化がめまぐるしい今の世の中にあつて、依然として経済的困窮や社会的孤立により支援を必要とする人たちは少なくありません。児童・障がい者・高齢者への虐待、いじめや不登校、引

きこもり、そして障がい者や高齢者を狙った悪徳商法・おれおれ詐欺といった事件の報道が目立ち深刻さを増しています。

そして大半の市町村では人口減少が問題とされていますが、野々市市では、当面人口の増加が見込まれるようですし、住みやすい若い町としてのイメージが強いようですが、人口増加で新しい市街が広がる一方で、生活スタイルや価値観の多様化、核家族化、人間関係の希薄化といったことが進んでいるようです。他人からの干渉が少ないほうが、わずらわしさが少なく住みやすいと感じる方もいるでしょう。しかし反面地域のつながりが希薄な街は防犯面や子育てなどにおいては適した環境ではないといわれています。見た目のにぎわいだけでなく、子供たちや高齢者をはじめ、そこに住む人たち

にとつてお互い本当に安心して住める街づくりが必要となっています。

市では地域福祉活動計画にそつて「地域づくり」を進めています。町内会が中心になって、地域の人々が気軽に集いあえる場としてのサロンづくりなどもゆつくりですがすすんでいます。

私たち民生委員・児童委員もまたこの一年「広げよう 地域に根ざした 思いやり」の行動宣言にそつて、それぞれの地域においてみなさんの一番身近なところで、お互い信頼を深めながら日々見守りや相談相手として、また、つなぎ役として活動し、「地域づくり」においても関係団体と連携を深めながらさらに協力を進めてまいります。

今後とも、市民の皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますようお願いをいたします。



ひとり暮らし高齢者慰労会にて

民生委員児童委員信条

一、わたくしたちは、隣人愛をもつて、社会福祉の増進に努めます。

一、わたくしたちは、常に地域社会の実情を把握することに努めます。

一、わたくしたちは、誠意をもって、あらゆる生活上の相談に応じ、自立の援助に努めます。

一、わたくしたちは、すべての人々と協力し、明朗で健全な地域社会づくりに努めます。

一、わたくしたちは、常に公正を旨とし、人格と識見の向上に努めます。

※本誌は、「障がい者」と表記していますが、法律名や固有名詞は、そのまま記載しています。

野々市市民生委員児童委員協議会

会長 前川 一夫

各地区民生委員児童委員協議会

各地区民児協は、* 地域福祉推進員と協力して、皆様方の視点に立ったよりきめ細かな活動をしてまいります。

郷地区

世帯	……3,840世帯
人口	……8,979人
会長	……東 申明
委員	……15名
(内主任児童委員2名)	

押野地区

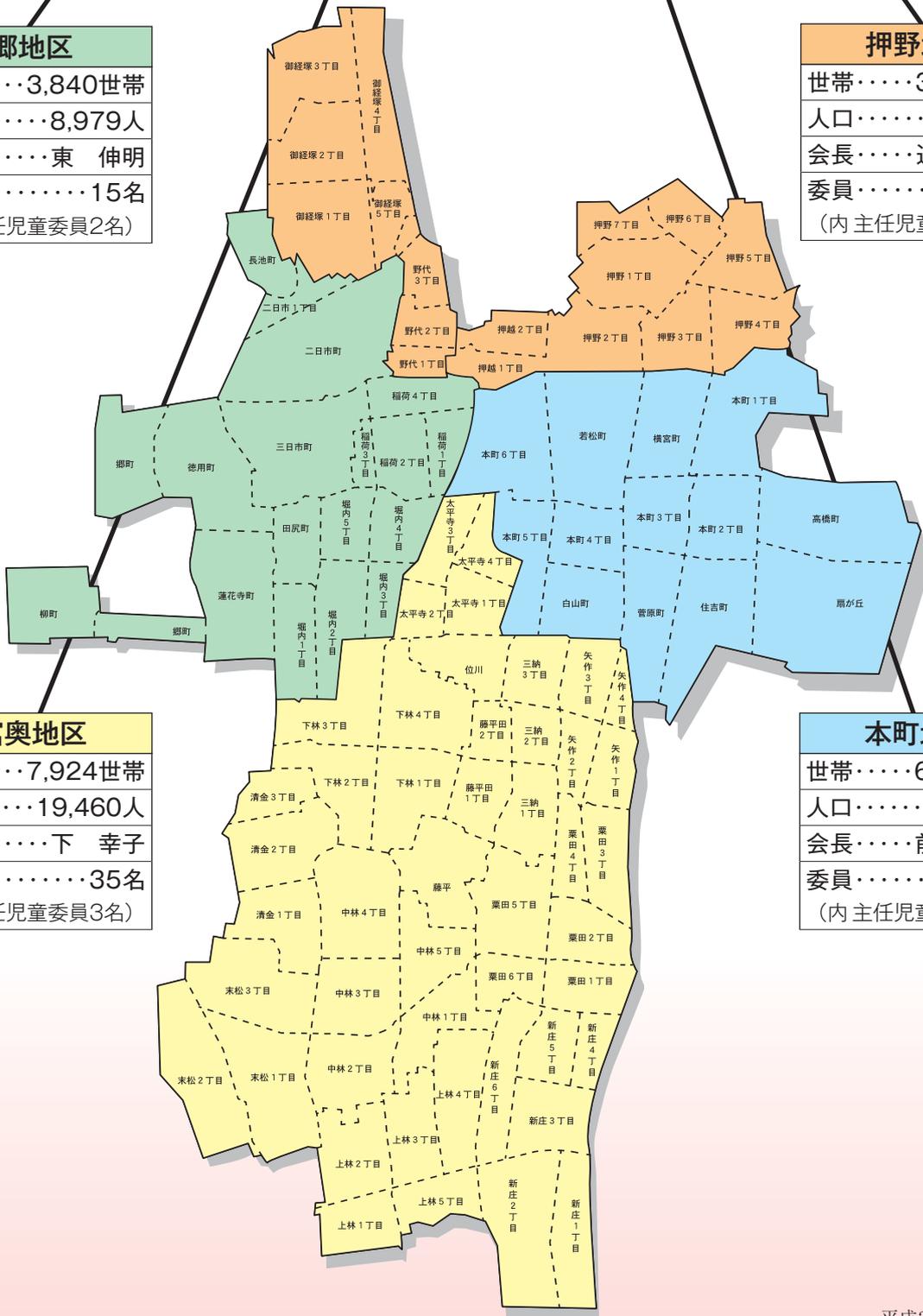
世帯	……3,941世帯
人口	……9,161人
会長	……近藤 幸子
委員	……18名
(内主任児童委員2名)	

富奥地区

世帯	……7,924世帯
人口	……19,460人
会長	……下 幸子
委員	……35名
(内主任児童委員3名)	

本町地区

世帯	……6,686世帯
人口	……13,555人
会長	……前川 一夫
委員	……29名
(内主任児童委員2名)	



平成27年3月末現在

* 地域福祉推進員：民児協がお願いをして、民生委員と協力し地域の見守りなどを行っています。

ひろば

子ども達を守ろう

主任児童委員 西川 千恵子



主任児童委員となり
早いもので一年が過ぎ
ました。以前、私は

野々市の保育士として働かせていただきました。その時は、主任児童委員の方々には大変お世話になり、運動会や表現会、卒園式等に出席していただき子ども達を温かく見守っていただきました。その大切な役を私にできるのだろうかと不安で一杯



郷・押野地区研修にて（右から2人目） 11月27日

でしたが、先輩の方々に助けられど
うにか二年目をむかえることができました。

最近、子ども達の身の回りでは、
目を覆いたくなる様な事故や事件が
毎日の様に起きています。私にも孫
がいて、近所にも大勢の子ども達が
います。

いつ同じことが？と考えると背筋
が凍る思いです。子ども達が、今何
を考えているのか、今何を思ってい
るのか？を大人達はいつとも気にか
け、ちょっとした言葉かけや、温か
い眼差しで守ってあげることが必要
ではないでしょうか。

心身共に健やかに育つ様に学校や
地域の行事等には進んで参加し、子
ども達の現状を把握し、みんなで協
力してかわいい子ども達を守りま
しょう。

印象に残った出来事

本町地区 種池 美智子



民生委員・児童委
員の二期目に入りま
した。委員の役割を考

えさせられた出来事として、東日本
大震災と原発事故があげられます。



民児協役員研修にて（中央） 8月19日

し、新聞でも報道されているように
社会的格差が広がっているのも現実
です。自助、共助に加え公助の充実
も期待したいです。
今までの経験をもとに、まずでき
ることからとして、高齢者や子ども
達の見守りを自分自身の将来像とダ
ブらせながら活動していきたいと
思っています。

地域とともに

富奥地区 高田 由美子



民生委員・児童委員
になって4年がすぎま
した。

毎月の定例会での勉強、見守り活
動、募金活動、施設への慰問、いろ
いろな行事へも参加させてもらいま
まで知らなかったことがたくさんあ
りました。

支援を必要とする人のために、多
くの人達のかかわりや努力があつて
支援活動が行われていることを知
り、住民の方々の見守りや安否確認
の中から必要な支援につなぐかけは
しになればと日々思っています。

また、私の担当地域では、高齢者
世帯も多いですが、若い世帯も増え



お年寄りと子どものフェスティバルにて(右端) 9月28日

児童の数も増えています。児童の小学校時、見守り隊としての住民の方々の協力や声かけ、運動会やお祭りなどの行事での交流も盛んです。ご近所さんも顔見知りで、一人暮らしや高齢者世帯の情報などを知らせてくれる方もいます。

住民がお互いを支えあい助けあい安心して暮らせることができる地域づくりをめざして協力していきたいと思えます。

人生のローソク

郷地区 東 京子



今日という日は二度と巡り来ることはありません。今日生かされて

経験することは、人生の陽炎のよくなものでもあり、また尊いもので

あるのかもしれませんが。

かつて菩提寺のご住職が、「人は皆、人生のローソクを持って生まれ生きてきたのです。長いものもあれば、短いものもある・・・けれどそのローソクを輝かすのも、自らの心掛け次第です・・・」と、仰しやられた意味が、この年を迎え、民生委員・児童委員を拝命させていただいて、ほんの少しわかせて頂けたような気がします。つい二年前までは、孫の世話に追われ、仕事に追われ、気が付けば鶏ニトリが鳴いている。こんな私に果たして人様のお世話をさせて頂けるのでしょうか。そんな自問自答を繰り返しながら、諸先輩



定例会にて(前列右側) 3月25日

方のお力を拝借し、民生委員活動もなんとか二年目に入ることができました。

仕事を持つている関係上、なかなか一人暮らしの高齢者宅を訪問することはむずかしいのですが、いつも笑顔で迎えてくださり(お化粧も薄らとされ服装も女性らしく)、逆にこちらが教えられることばかりです。年齢ヨライを重ね、女性としてのお手本を間近に拝する度に、只々我が身を振り返る日々です。

今日を大切に、これからも民生委員・児童委員として、人生のローソクを灯しつづけてまいりたいと思えます。

笑顔が一番

押野地区 雪垣 朋子



民生委員・児童委員の活動はボランティアですが、自分のためになることもあるんです。

例えば年末に訪問する老人介護施設の中には——もし私が入所するなら——の目線で見ると、入所料金が、高い所が良いのはもちろんですが、それだけでない相性とかがあること



生活福祉委員会にて(前列左から2人目) 7月22日

もわかりました。

それぞれの施設の特徴もあり、今のうちに予約しとこうかと思える所もあつたりします。

それともう一つ活動していて、一人暮らしの高齢者宅の訪問があります。皆様比較的健康であることもありますが、十分に自立していて居住もスガガしく過ごしておられる様子を眺め、一人暮らしの不安や不便もあるでしょうが、笑顔で応えてくれます。それを見ていて——自分がこの先一人暮らしになっても大丈夫だ——と思える多くのモデルに出会えて良かったと思ひながら、元気良く声をかけています。

活動あれこれ

民生委員・児童委員は担当地区ごとに住民の立場に立って幅広い支援活動を行っています。民児協独自の活動や、行政及び関係機構との協力活動も行っており、その中からいくつか紹介します。

〈独自の活動〉



毎月開催される定例会にて



施設見学「シェア金沢」8月19日

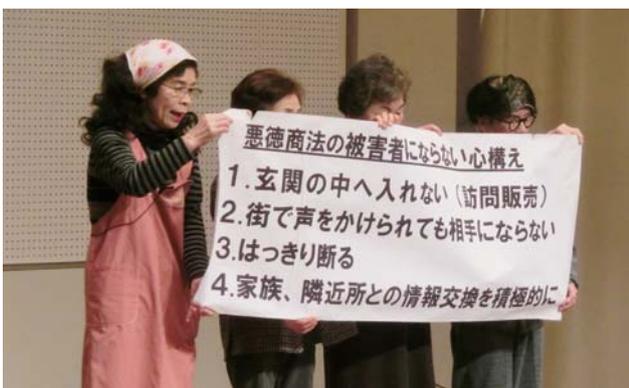


施設見学「スーパーびゅー蓮華寺」11月12日



地域包括支援センターとのグループワーク 6月20日

平成26年度 地域福祉推進員との合同研修会



劇団サークル「すかんぼの会」による寸劇
「悪徳商法あれこれ」2月20日



粟市長による福祉講演会
「福祉のまちづくり」5月22日

地区別研修会

平成26年度より、新たにその地区独自のテーマで研修を行いました。



富奥地区 「なごみの郷」 見学

社会復帰にむけ努力をしている障がい者施設の見学をしました。

(小松市) 10月24日

郷・押野地区 「三谷の里ときわ苑」 見学

生活困窮者の自立支援の取り組みを勉強しました。

(金沢市) 11月27日



本町地区 グループワーク事例研究

「日頃の民生委員活動について」をテーマに、グループに分かれ様々な事例を検討しました。

(野々市市) 11月21日

福祉専門委員会の活動内容

私たちは、四つの福祉委員会を組織して、地域の方々に質の良い身近な情報を提供できるよう、見識の向上に努めています。

生活福祉委員会

- ・生活保護制度について①
- ・生活保護制度について②

障害者福祉委員会

- ・小松市「西園寺」視察
- ・野々市市障害者スポーツ大会参加協力
- ・フォーラム「ののシテイ」施設見学

児童福祉委員会

- ・野々市市における子どもの現状と行政サービス
- ・児童虐待について
- ・山代児童サポートセンター「阿羅漢」視察

高齢者福祉委員会

- ・野々市市高齢者制度の現状について①
- ・野々市市高齢者制度の現状について②
- ・「シェア金沢」視察
- ・高齢者孤独死防止講演会

〈行政および関係機関との協力活動〉



野々市市障害者スポーツ交流大会* 11月9日



ひとり暮らし高齢者慰労会* 7月8日



ミニ門松作り* 12月27日



赤い羽根共同募金街頭募金（共同募金会主催）10月1日



野々市市社会福祉大会* 7月5日



お年寄りと子どものフェスティバル* 9月28日

*は野々市市社会福祉協議会主催

平成27年6月1日 第4号(通巻27号)

編集・発行

野々市市民生委員児童委員協議会

〒921-8815

石川県野々市市本町5丁目18番5号

野々市市社会福祉協議会内

TEL 246-0112/FAX 246-0169

編集後記

北陸新幹線が開通しました。それにつれ変化も速く、また大きくなる予感があります。

私たちも乗り遅れることなく、いち早く正確な情報を皆様にお届けし、安全・安心なまちづくりを目指したいと考えております。今後ともよろしくお祈りします。

(葭森)

